

# 平成 27 年度 練馬区立豊玉中学校の学習・学力状況

第 3 学年 「全国 学力・学習状況調査」(国語、数学、理科)及び「練馬区 学力調査」(社会、英語)の結果

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	数学 A (知識)	数学 B (活用)	理科	社会	英語
豊玉中	76.8	63.4	56.0	37.5	43.5	49.2	68.5
全 国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0	55.1	66.0

\*国語、数学は、それぞれ「主に知識に関する問題 A」「主に活用に関する問題 B」。数値は、正答率。

第 3 学年の学習のポイント

国語	相手の反応を踏まえて話すこと、語句の選び方や使い方を工夫して書くこと、伝えたい事実や事柄について自分の考えを表すことなど、目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出すことができている。今後は、知識を活用して考えたり、根拠のある考えをまとめたりする学習に取り組みましょう。
数学	等式の性質と式変形の関係、垂線の作図の方法を図形の対称性に着目して見直すこと、記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取るなどの力が身に付いています。さらに、空間における直線と平面の垂直、証明の必要性、数学的な表現や図形の性質を用いた方法を説明することができる学習が重要です。
理科	地学分野に関する内容、実験の結果を表したグラフや実験の結果を言葉で記録した表を分析して解釈する力が身に付いています。実験の結果を数値で表した表を分析して解釈し、規則性を見いだすことや計画的な実験、課題に正対した考察をする学習が求められます。
社会	基礎的事項の知識・理解を活用した地理的分野におけるグラフや地形図の読み取り、歴史的分野における歴史的事象に対する理解、資料活用の技能、社会的事象についての知識や理解の深化を図る学習に、積極的に取り組みましょう。「覚える」だけでなく、「分かる」学習が重要です。
英語	基礎的事項、リスニング(内容理解)力が身に付いています。さらに、語形・語法の知識・理解、長文の読み取り、コミュニケーション、外国語表現、外国語理解、言語や文化についての知識・理解を深めていく学習を実践する必要があります。

第 2 学年 「東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査」(国語、社会、数学、理科、英語)の結果

	国語	社会	数学	理科	英語
豊玉中	55.8	52.9	55.1	45.4	59.6
東京都	54.3	52.7	57.0	50.0	59.6

\*数値は、正答率。

第 2 学年の学習のポイント

国語	関心や意欲、言語を読み取る力や解決する力が身に付いています。相手の反応や相手の話に耳を傾け、基本となる「話す、聞く、書く」力を高める学習に取り組むことが大切です。
数学	思考・判断、読み解く力が身に付いています。課題の設定やノートを活用し、より深く考える学習や問題解決的な学習を通して思考力を育むことが大切です。
理科	生物分野の知識・理解が身に付いています。今後の学習では、化学分野の計算の仕方や実験操作、観察実験の技能などを高めることが求められます。
社会	基礎的事項、読み解く力が身に付いています。これからの学習では、関心や意欲、資料活用の技能、社会的事象、事象間の関連についての知識・理解を深める学習が重要です。
英語	外国語理解、言語や文化についての知識・理解、解決する力が身に付いています。関心や意欲、外国語表現、取り出す力の一層の定着を目指しましょう。

これらの調査結果を踏まえた授業の重点目標

## 重点目標「基礎基本の定着」「思考力の育成」

- 基礎・基本的な知識や技能に関する問題を何度も繰り返しながら学習します。
- 授業やテストで、できなかった問題に重点的に取り組み、「できた・わかった」という達成感を味わう授業を行います。
- 生徒の能力や習熟の程度に応じた教材や言葉かけの工夫を行い、より深く考えさせる問題に取り組みます。